

図書館だより

図書委員が考える図書館の良さ・読書のメリット



図書委員会は各HRから二人ずつ選出され、計30人で構成される専門委員会です。昼休みと放課後の図書館カウンター業務をはじめ、おすすめ図書のPOP作成や館内展示製作に校内掲示などなど、さまざまな活動にたずさわります。今年度の委員長はC3の大村真知子さん、そして副委員長はE3の大畑滉さん。大村さんは図書委員の経験が今年度で3年目、昨年度はビブリアバトル県大会にも出場しました。一方図書委員の経験が初めての大畑さんは、貸出手続き・返却手続きにもすっかり慣れ、スムーズに委員の仕事に取り組んでいます。さて、そんな二人に「島工図書館の良いところ」や「読書のメリット」などを聞いてみました。



島工図書館の良いところ

①読書初心者でも読みやすい本がたくさん置いてある。②人が多すぎないから自習にも向いている。③本のプロフェッショナルこと司書の先生にいつでも質問できる。(大村真知子さん)

①各学科ごとに取得する資格検定試験の参考書・問題集があるところ。②漫画やライトノベルもいろいろな作品がそろっているところ。③ただ本が並べられているだけではなく、おすすめの作品や新作のものなどもわかりやすく置いてあるところ。

読書のメリット(良さ・効果)

☆心の中の整理がつかない時に本を読むと、泣いたり笑ったり、無心になったり。考えが深まり、思考がリセットされます。もちろん想像力や語彙力も身につきます。(大村真知子さん)

☆自分の知識が増えるというところ。☆小説を長時間読むことによって、集中力や記憶力が向上するところ。(大畑滉さん)

読書の苦手な生徒へのアドバイスとして、大畑さん自身は「苦手意識を持つことなく、漫画もラノベもあるし、気軽に図書館に行けば大丈夫!」という意見。また委員長の大村さんは、こんな親身なメッセージを寄せてくれました。「無理して本を読んでも良いことはありません。ですが、本とはなにも小説だけではないのです。詩集や図鑑、随筆など、きっとあなたの気に入るジャンルがあります。大切なのは文章を読むことではなく何を吸収するのかということ、吸収したものは必ず生活の中に生きていきます。昼休みも放課後もいつでも図書室は開いていますよ。」
人間性が完成していく若い柔軟な十代の今だからこそ、刺激される一冊に出会えるはず。気楽に、かまえず、ふらっと図書館へどうぞ。

図書館の思い出



事務職員 たけひろ
渥美武大さん

生徒や教職員の活動全般を支えて下さる事務職員の方々。ふだんあまりお話しする機会がないので、渥美さんのことを知っている生徒は多くないかもしれません。渥美さんは島工事務室勤務の傍ら、大学院で修士論文の執筆をしており、休日を大学附属図書館や県立図書館などで過ごしたり、週1で書店に立ち寄ったり、Amazonでお得な中古本を探したりするという一面をお持ちなのです。

高2の頃、国語の授業で夏目漱石の「こころ」を学習した際、この作品が持つ人間本性に迫る鋭い洞察に興味をいだき初めて高校の図書館で本を借りようと足を運んだ渥美さん。しかしすでに他の人が借り、予約もずっと埋まっている!結局借りるのを諦め本屋さんで買った新潮文庫の「こころ」は今も部屋の本棚にあり、当時を懐かしく思い出させてくれる一冊になっています。

また志賀直哉の「暗夜行路」に強い印象を受け、大学2年の夏に作品の舞台である尾道や千光寺を訪れました。山上の千光寺展望台から瀬戸の穏やかな内海を望むと夏の陽射しにきらきら輝く景色が美しく、作品世界の印象とともに深く思い出に残る読書体験をしました。

読書の入口として渥美さんが島工生にすすめるのは推理小説や歴史小説。読みやすく、予想外の展開や描写の迫力・斬新さに飽きることがないため集中力が持続しやすく、教育学者の斎藤孝も「読書力」(岩波新書)で「乳歯レベルの読書」と位置づけているそうです。やがて「永久歯レベルの読書」に発展すると、著者の真意をくみ取ろうとする思考力が鍛えられさらに他者に寄り添う傾聴の姿勢も身につけていきます。「読書の経験によって得られるものは大きい」と断言する渥美さん。「勉強や部活などで忙しい毎日ですが、ぜひ、読書にも挑戦してもらえたらと思います。」

新着図書のお知らせ

「就職四季報優良・中堅企業2024年版」東洋経済新報社
「税金で買った本 1~6」ずいの原作・系山 岡画
「10代が考えるウクライナ戦争」岩波ジュニア新書
「ネット情報におぼれない学び方」梅澤 貴典
「健康長寿県しずおかの秘密をひも解く」県文化財団
「徳川家康と9人のつわものたち」伊藤 嘉道
「エモい古語辞典」堀越 英美
「暇な人、謎解きでもしませんか?」暇謎
「Michi みち」junaida
「世界の片隅で日本国憲法をたぐりよせる」大門 正克
「名画から学ぶ写真の見方・撮り方」塚崎 秀雄
「やさしさを忘れぬうちに」川口 俊和
「どんがら トヨタエンジニアの反骨」清武 英利
「月と散文」又吉 直樹

「SGU警視庁特別銃装班」沖方 丁
「魔女と過ごした七日間」東野 圭吾
「糸暦」小川 糸
「先生と僕 夏目漱石を囲む人々 作家篇」香日 ゆら
「先生と僕 夏目漱石を囲む人々 青春篇」香日 ゆら
「神様の御用人 継いでゆく者」浅葉 なつ
「湯道」小山 薫堂
「教場 0 刑事指導官・風間公親」長岡 弘樹
「Re:ゼロから始める異世界生活 33」長月 達平
「レプリカだって、恋をする。」榛名 井
「忍びの副業 上」畠中 恵
「忍びの副業 下」畠中 恵
「行きつ戻りつ死ぬまで思案中」垣谷 美雨
「高校サッカー一年鑑 公式記録 2022-23」
全国高等学校体育連盟サッカー専門部
「ぬくといね おおいがわ」環境省
「しごとば4東京スカイツリー公認本」鈴木 のりたけ

「しごとば もっと」鈴木 のりたけ
「しごとば やっぱり」鈴木 のりたけ
「街とその不確かな壁」村上 春樹
「仮面ライダー昆虫記」稲垣 栄洋 石森プロ 作画
「栗山ノート」栗山 英樹
「凸凹のためのおとなのこころがまえ」三木 崇弘
「文豪、社長になる」門井 慶喜
「家が好きな人」井田 千秋
「54字の物語X 意味がわかるとゾクゾクする超短編小説」氏田 雄介 作 武田 侑大 絵
「10代の悩みに効くマンガ、あります!」トミヤマ ユキコ
「新種発見物語 足元から深海まで11人の研究者が行く!」島野 智之 脇 司
「真夏の甲子園は知らない 問題だらけの高校野球」
玉木 正之 小林 信也
「みなと商事コインランドリー ノベル いれかわりの恋」椿 ゆず 缶爪 さわ